

基本情報

科目分類	専門科目	開講年次	1・2年
時間割コード	3B561	開講区分	集中
開講科目名	現代経営学応用研究（ビジネス・プランニング）	曜日・時限等	土1, 土2（ハイブリッド（対面））
成績入力担当	熊野 正樹	単位数	1.0
授業形態	講義	ナンバリングコード	B4BB608

担当教員一覧

詳細情報

<p>■ 授業のテーマ</p> <p>この講義では、ビジネスプランの作成という実践的な課題を通して、スタートアップについて学びます。受講生にはスタートアップの経営者になったつもりで、課題に取り組んでもらいます。経営者は、「誰のどんな課題をどうやって解決するか」に注力し、広くスタートアップの経営全般について考える必要があります。これらを通して、スタートアップへの理解を深めると同時に、広く社会を見渡す力、その中からビジネスチャンスを発見する力、それを実現にむけてプランニングする力、それをわかりやすく人に伝える力を養います。また、アントレプレナーシップセンターが実施する神戸大学ビジネスプランコンテストへの応募を行い、学内イベントとの連携を図ります。起業、経営、スタートアップに関心のある学生の受講を歓迎します。</p>
<p>■ 授業の到達目標</p> <p>ビジネスプランニングに必要な基礎知識（課題の設定、解決方法、市場規模、競合、チーム、ファイナンス等）を学習する。また、学生がグループワークを通じてビジネスプランを議論し、わかりやすくプレゼンテーションするスキルを学習する。</p>
<p>■ 授業の概要と計画</p> <p>① 授業形態 この講義は対面で実施する。</p> <p>② 授業の概要と計画 本講義は対面で実施します。具体的な各回の内容は以下のとおりです。なお、新型コロナウイルス感染拡大により授業形態が変更となった場合はBeef でお知らせします。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 ビジネスアイデアの発表・チームビルディング 第3回 ビジネスプランの基礎知識 第4回 ビジネスプランの発表とブラッシュアップ 第5回 ビジネスプランの発表とブラッシュアップ 第6回 ビジネスプランの発表とブラッシュアップ 第7回 ビジネスプラン発表会 第8回 まとめとレポート</p>
<p>■ 成績評価方法</p> <p>レポート試験60%、授業への参加度（各回の発言度等）40%で評価する。</p>

■成績評価基準	
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスプランについて適切に論理展開を行いレポート作成ができるか ・ビジネスプランについて正確に理解して、発表を行っているか。 	
■履修上の注意（関連科目情報）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ノートPCを持参し、パワーポイントを作成する。 ・グループワークを実施する。 	
■事前・事後学修	
<p>事前学修：各回の授業で取り扱う項目について、教科書（又はBEEF に事前掲載した資料）の関係する部分を読んだ上で、疑問点をまとめておくこと。</p> <p>事後学修：授業でのビジネスプランに対するフィードバックに基づき、ビジネスプランをブラッシュアップすること。</p> <p>・本学では1 単位あたりの学修時間を45 時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。</p>	
■学生へのメッセージ	
グループワークを中心とした授業（演習形式のセミナー）であるため、毎回の出席が必須であり、授業時間外の活動、チームメンバーとの共同作業が必要となります。この点を十分理解した上で申し込んでください。	
■教科書	
入門 起業の科学 / 田所雅之：日経BP , 2019年 ,ISBN:9784296100941	
■参考書・参考資料等	
Pitch ピッチ 世界を変える提案のメソッド / Open Network Lab：インプレス , 2020年 ,ISBN:429500913X	
■授業における使用言語	
日本語	
■キーワード	
■参考URL	

担当教員一覧

教員	所属
熊野 正樹	産官学連携本部

基本情報

科目分類	専門科目	開講年次	1・2年
時間割コード	4B579	開講区分	集中
開講科目名	現代経営学応用研究（アカデミック・アントレプレナーシップ）	曜日・時限等	火5,火6（遠隔）
成績入力担当	坂井 貴行	単位数	1.0
授業形態	講義	ナンバリングコード	B4BB608

担当教員一覧

詳細情報

■ 授業のテーマ
知識社会における国際競争力の確保の必要性から、大学は社会全体の知の源泉として重要な役割を担っており、大学等の研究成果の活用を目的とした産学連携は、国家的な期待の高まりが見られます。本授業では、近年注目を集めているアカデミック・アントレプレナーシップについて、目的、意義、効果について学びます。具体的には、国内外の具体的な事例を取り上げながら、産学連携によるイノベーション創出において求められる共同研究マネジメント、利益相反マネジメント、大学の研究成果の商業化の方法を習得します。
■ 授業の到達目標
アカデミック・アントレプレナーシップに関する基礎知識の習得するとともに、実践的な演習・グループワークを通して、大学の研究成果等を活かした持続的・革新的なイノベーションを生み出すことのできる能力を涵養することを目指します。
■ 授業の概要と計画
第1回:イントロダクション ・産学連携の意義や課題 第2回:共同研究マネジメントⅠ ・共同研究における大学・企業の役割と成功要因 第3回:共同研究マネジメントⅡ ・共同研究における成果の取扱い 第4回:利益相反マネジメント ・産学連携で生じる利益相反マネジメント 第5回:大学の研究成果の商業化Ⅰ ・技術移転における適切な知的財産の確保、技術移転マーケティング 第6回:大学の研究成果の商業化Ⅱ ・発明者インタビューによる技術シーズの把握方法 第7回:大学の研究成果の商業化Ⅲ ・技術移転におけるライセンスとネゴシエーション 第8回:大学の研究成果の商業化Ⅳ ・アントレプレナーのマインドセット ・担当教員は科学技術の事業化・商業化に関して20年以上の実務経験があります。具体的な事例を交えながら実務の視点も積極的に取り入れた授業の実施を心がけます。
■ 成績評価方法
(1)出欠状況とグループワークへの参加・貢献（50%） (2)レポート試験（50%）
■ 成績評価基準

<p>(1)の評価基準： 毎回の出席は必須とします。また演習・グループワークにおいて、グループメンバーと協調して積極的に取り組めたかを評価します。</p> <p>(2)の評価基準： アカデミック・アントレプレナーシップに関して、適切に理解し、論理展開を行うことができるかについて評価します。</p>
<p>■履修上の注意（関連科目情報）</p>
<p>授業は全てオンラインで行います。</p>
<p>■事前・事後学修</p>
<p>事前学修では、本授業で取り扱う項目について、BEEFに事前掲載した資料や参考文献を読んだうえで、疑問点を纏めておいてください。事後学修では、BEEFに事前掲載した資料や参考文献を再読し、授業で学んだことに関して、実務に活かすことができる内容について纏めてください。</p> <p>本学では、1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。</p>
<p>■学生へのメッセージ</p>
<p>本授業を通して、産学連携・科学技術の商業化による社会実装に興味をもっていただき、我が国の産学連携によるイノベーションの創出をテーマとした正解のない問題について有意義な議論を行うことで、みなさんの実務に役立てていただければと思います。</p>
<p>■教科書</p>
<p>教科書はありません。BEEFで講義資料を配布します。</p>
<p>■参考書・参考資料等</p>
<p>渡部俊哉編『理工系のための特許・技術移転入門』（ダイヤモンド社）、2003。玉井克哉・宮田由紀夫編著『日本の産学連携』（玉川大学出版部）、2007。忽那憲治編『ケースブック大学発ベンチャー創出のエコシステム』（中央経済社）、2020。坂井貴行・忽那憲治『ファミリービジネスのための産学連携のススメ』、2021。</p>
<p>■授業における使用言語</p>
<p>日本語</p>
<p>■キーワード</p>
<p>実務経験教員、パソコン、アカデミック・アントレプレナーシップ、テクノロジーコマーシャライゼーション</p>
<p>■参考URL</p>

担当教員一覧

教員	所属
坂井 貴行	科学技術イノベーション研究科